



山形県感染症発生動向調査

平成30年第35週(8月27日～9月2日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2018年9月5日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~35週
	第34週	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	169 0.03																16171
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	4191 1.34	25 0.83	87 2.90	△	13 1.00	59 4.54	△	3 1.00	12 4.00	▲	8 1.33	11 1.83	▲	1 0.13	5 0.63	△	535
咽頭結膜熱	1037 0.33	8 0.27	5 0.17	▼	1 0.08		▼				7 ◎1.17	5 0.83	▼				681
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	3458 1.11	37 1.23	35 1.17	▽	15 1.15	11 0.85	▽	1 0.33		▽	13 2.17	20 3.33	▲	8 1.00	4 0.50	▽	3477
感染性胃腸炎	10186 3.26	96 3.20	88 2.93	▽	47 3.62	34 2.62	▽	10 3.33	3 1.00	▽	26 4.33	32 5.33	▲	13 1.63	19 2.38	△	5556
水痘	707 0.23	2 0.07	7 0.23	△		2 0.15	△	2 0.67	3 1.00	△		1 0.17	△		1 0.13	△	447
手足口病	3105 0.99	30 1.00	24 0.80	▼	23 1.77	16 1.23	▼	3 1.00	1 0.33	▼	2 0.33	5 0.83	△	2 0.25	2 0.25		1076
伝染性紅斑	988 0.32	8 0.27	5 0.17	▽				1 0.33	1 0.33		7 1.17	3 0.50	▽		1 0.13	△	321
突発性発しん	1414 0.45	16 0.53	19 0.63	△	2 0.15		▼	1 0.33	2 0.67	△	6 1.00	6 1.00		7 0.88	11 1.38	▲	605
ヘルパンギーナ	4896 1.57	166 ◎5.53	179 ◎5.97	▲	49 ◎3.77	49 ◎3.77		5 1.67	14 4.67	△	49 ◎8.17	63 ◎10.50	△	63 ◎7.88	53 ◎6.63	▽	2071
流行性耳下腺炎	442 0.14	3 0.10	6 0.20	△	2 0.15	2 0.15			1 0.33	△	1 0.17	1 0.17			2 0.25	△	108
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	8 0.01																
流行性角結膜炎	757 1.10	8 1.00	1 0.13	▽	6 1.50		▽				1 1.00		▽	1 0.50	1 0.50		87
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	6 0.01																20
クラミジア肺炎	3 0.01																
マイコプラズマ肺炎	99 0.21	3 0.30	6 0.60	△	3 0.75	5 1.25	△								1 0.33	△	103
細菌性髄膜炎	7 0.01																8
無菌性髄膜炎	24 0.05																6

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
腸管出血性大腸菌感染症	患者	1		1	1	型別:O157 VT1VT2 1人、O157 VT2 1人、O血清群不明 VT2 1人。
	無症状病原体保有者			1		型別:O血清群不明 VT2。
梅毒	無症状病原体保有者	1			1	※内、第33週追加報告 1人。
百日咳	患者	3				ワクチン接種歴:不明 3人。小児 3人。

<通信欄>

※トピックスで、RSウイルス感染症とヘルパンギーナについて掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ															
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	2	19	34	21	9	2									87
咽頭結膜熱			1	1	1					1				1	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				1	3	4	8	2	4	4	1	6		2	35
感染性胃腸炎	1	12	21	10	7	7	10	5	2	2	2	9			88
水痘				2		2	1		1	1					7
手足口病	1	4	5	5	2	2	1	3		1					24
伝染性紅斑					2		2		1						5
突発性発しん		3	14	1	1										19
ヘルパンギーナ	2	18	49	42	27	14	10	9	3	1	1	3			179
流行性耳下腺炎				1		1	2	2							6

<平成30年7月 月報>

2018年8月22日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～7月
	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 15	18	9	12	2		2	4	2	2	131
	定点当り 1.50	1.80	2.25	3.00	2.00		1.00	2.00	0.67	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 7	6	1		1	1	4	4	1	1	58
	定点当り 0.70	0.60	0.25		1.00	1.00	2.00	2.00	0.33	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数 5	4	2	2			1	1	2	1	23
	定点当り 0.50	0.40	0.50	0.50			0.50	0.50	0.67	0.33	
淋菌感染症	報告数 3	2	2						1	2	19
	定点当り 0.30	0.20	0.50						0.33	0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 11	8	1		1	1	3	2	6	5	55
	定点当り 1.10	0.80	0.25		1.00	1.00	1.50	1.00	2.00	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 22	20	12	10				1	10	9	127
	定点当り 2.20	2.00	3.00	2.50				0.50	3.33	3.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

<トピックス>

RSウイルス感染症 情報

RSウイルス感染症の定点当たり報告数が急増しています。冬に流行することの多い感染症ですが、近年は流行の開始時期が早まる傾向があるため、注意が必要です。

- ・第35週 定点当たり報告数(山形県:2.90人)
村山:4.54人 最上:4.00人 置賜:1.83人 庄内:0.63人
- ※警報・注意報の基準値は設定されていません。

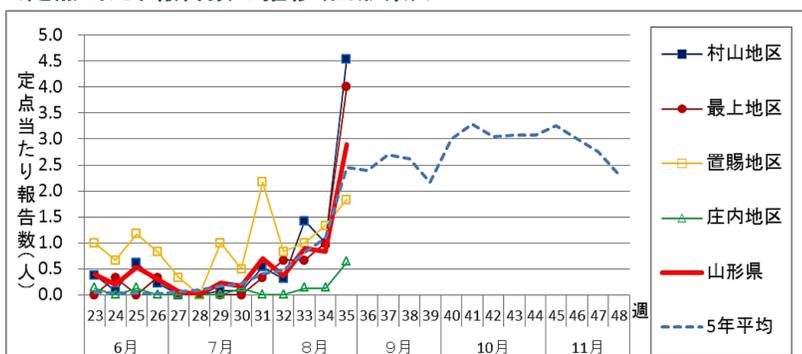
<RSウイルス感染症とは>

RSウイルス感染症は、乳児によくみられる急性呼吸器感染症です。潜伏期間は4～6日、症状は軽い風邪様の症状から肺炎まで様々です。2歳までにほぼ100%の人が感染し、生涯にわたり何度も感染と発症を繰り返します。初めて感染した場合は症状が重くなりやすく、特に新生児や生後6ヶ月以内の乳児は注意が必要です。

感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染、ウイルスがついている物を介しての接触感染などがあります。予防法としては、手洗いの励行、マスクの着用、ウイルスの付いている物の消毒が有効です。



<定点当たり報告数の推移(山形県)>



ヘルパンギーナ 情報

県平均の定点当たり報告数は、7週連続で警報レベルとなっています。地区別では、村山地区、庄内地区、置賜地区が警報レベルとなっています。

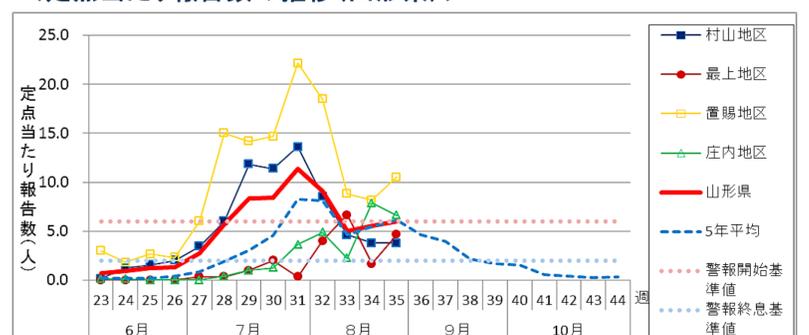
- ・警報開始基準値:6人 警報終息基準値:2人
- ・第35週 定点当たり報告数(山形県:5.97人)
村山:3.77人 最上:4.67人 置賜:10.50人 庄内:6.63人

<ヘルパンギーナとは>

エンテロウイルス(コクサッキーウイルスA群など)による感染症で、幼児を中心に夏に流行します。

ウイルスに感染すると、2～4日後に突然38～40℃の高熱が出ます。その後、のどの痛みと発赤が現れ、のどの奥に小水疱(小さな水ぶくれ)が現れます。小水疱は、やがて破れて痛みを伴います。発熱は2～4日で解熱し、やや遅れてのどの痛みも治まります。

<定点当たり報告数の推移(山形県)>



予防のために、手洗い・うがいを徹底しましょう。特に、ヘルパンギーナと手足口病は、回復後も便中に2～4週間にわたり、ウイルスが排泄されますので、おむつ交換やトイレの後は入念に手を洗いましょう。

